



迎春



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

**一般社団法人 岩手県臨床衛生検査技師会
会長 安保 淳一**

平成 28 年を迎え新年のご挨拶を申し上げます。

今年は暖冬でお正月を過ぎてても雪が少なく穏やかな年始となりました。皆様におかれましては健やかに新年を迎えられましたことをお慶び申し上げます。

さて、昨年は学会も終えて、ひと安心、ひと息ついた一年間でもあったように思います。そんななかでも事業は例年とおり滞り無く行うことができました。岩手医学検査学会の開催（盛岡地区担当）、学術部では学術誌の発行、各部門の研修会、精度管理、公益事業では大船渡での「検査と健康展」の開催、安比リレーマラソンへの参加（がん撲滅をアピール）、総務部では会員名簿の作成（現時点では印刷校正中）。事務局では事務会務、施設や会員への案内・お知らせ等、会報の発行。「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成研修会」の開催。滞りなく会務を執行していただきましたご担当者、関係各位の皆様にご挨拶申し上げます。

東日本大震災以降、被災地での健康展を開催することがわたくしの念願でありましたので、「検査と健康展」を大船渡で開催できたことを大変うれしく思っております。開催にあたり南部地区技師会長であります岡本さんをはじめとした南部地区の皆様、公益事業部長の川村さん、皆様のご尽力に改めまして衷心より感謝申し上げます。これを受けて来年度も三陸地区での「検査と健康展」開催を検討しております。

「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成研修会」では多くの皆様の参加をいただき有意義な研修会となりました。私自身も改めて接遇や患者さんの心理を学ぶことができ、改めてその大切さを再認識しました。また、今後、臨床検査技師として患者さんに対する検査説明がどの施設で

(い わ て)

も日常的に行われるものと強く感じました。

次に昨年の4月から臨床検査技師法改正により新たにインフルエンザ等の検体採取ができるようになり、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会が仙台市にて開催されております。臨床検査技師の業務拡大として与えられた権利でありますので、多くの会員の皆様がこの指定講習会を受講されますことを期待致します。

時代の流れは速く留まっているといつの間にか時代に取り残れるという感はありませんが、ひとり、ひとりが孤立することなく皆で手を取り漕ぎだした舟に乗合いましょう。

本年も常務理事、理事、事務局一同、事業の推進に努めて参ります。今後とも皆様のご協力とご支援の程よろしくお願い申し上げます。

結びに会員の皆様にとりまして、本年も良い年となりますよう祈念申し上げ新年のご挨拶と致します。



第1回輸血・移植部門部門研修会に参加して

岩手県立宮古病院 宮川 詩乃

11月21日に岩手県赤十字センターで開催された、平成27年度「第1回輸血・移植部門研修会」に参加させていただきました。テーマは【輸血検査における異常反応～その考え方と対処法について～】ということで、私にとっては非常に興味深い内容でした。私は輸血検査に携わって2年になりますが、その短い期間のなかでも異常反応に遭遇することが何度かあり、その度に慌て、頭を悩ませてきました。特にABO血液型やD抗原の検査における異常反応は、遭遇する機会が少ない上に亜型や骨髄移植、異型輸血など様々な要因が考えられるため、特に苦手とするところでした。今回の研修会では、元東北ブロック血液センターの菊池正輝先生より「ABO血液型・



D抗原について」と題して、講義して頂きました。異常反応が患者検体に起因するときは、血球に原因がある場合と血清に原因がある場合のどちらかで、血球の場合は骨髄移植や異型赤血球輸血、疾病による抗原活性の低下などがウラ・オモテ不一致の原因となることもあります。血液型検査で異常が認められた場合、基本ではありますが、第一に患者情報の収集が大切だと思いました。血清側に起因する

(い わ て)

ものとしては、規則抗体の低力価や不規則抗体が主ですが、悪性疾患の場合に型物質が異常に増加し、オモテ検査試験の抗体を中和してしまうことや、検査用試薬に含まれる添加物が関与し、まれに偽陽性・偽陰性反応が起きることもあったと知りました。

後半は(株)カインスの佐々木正照先生より「抗体スクリーニング・交差適合試験-DAT・自己対照を含めて異常・非特異反応」というテーマで輸血検査の検査法から試薬による違いまで詳しく教えて頂きました。抗体スクリーニングに使われる反応増強剤はPEGがLISSやBSAに比し、臨床的意義のある抗体の検出率が高く、使用が推奨されているということを知りました。また、全自動輸血検査装置においてのカラム法の反応原理や検体を吸引するプローブの位置が試験管法と自動検査装置の結果の乖離に影響しているということを知り、各々の試薬や検査方法の特徴を踏まえて結果を解釈していく必要があると感じました。最後になりますが、今回の研修会を企画して下さいの皆様、講師の先生方、ありがとうございました。今回学んだことを今後の業務に活用していきたいと思っています。



**平成 27 年度先駆的チーム医療実践講習会～国家プロジェクト
としての認知症領域への対応に参加して**

医療法人勝久会 地ノ森クリニック 岡本 恵智子

渡辺謙主演の「明日の記憶」という映画をご覧になった方は居りますでしょうか？
広告代理店に勤める 49 歳のやり手営業マン、大きな仕事も手掛け、娘の結婚も決まり、公私ともに順風満帆に見えましたが、物忘れがひどくなる、めまい、幻覚といった症状が出始めます。妻に促され、しぶしぶ受診すると若年性アルツハイマーと診断される・・・。2006 年の映画ですが、とても衝撃を受けた覚えがあります。

2015 年の時点では、4680 万人の認知症の方がいて、20 年後に倍増する。世界のどこかで 3 秒に 1 人が新しく認知症になっている・・・道理で NHK スペシャルで認知症の特集が組まれている訳です。

厚生労働省では、認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～を作成して対策に取り組んでいます。老健局総務課 認知症施策推進室認知症対策専門官 新美 芳樹先生のお話では、基本的な考え方として認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指すということです。とはいえ、死ぬまでに 5 割の方が認知症になると云われ、有病率の影響因子は、年齢・性別（特に女性）・糖尿病、糖尿病罹患率が横ばいもしくは低下傾向で有れば有病率が下がるということだそうです。発症までの期間を延ばせるのであれば、早期診断から発症までの空白期間の支援の仕方が重要であると思われました。

「認知症を理解するために」と題した認知症予防学会理事長で鳥取大学医学部保健学科生体制御学教授 浦上克哉先生は、認知症は正しく理解されていないとしたうえで、認知症と診断されないまま野放しの方が診断治療を受けずトラブルをおこしている例があるが、認知症は 20-30 年かけてゆっくりと進行する穏やかな病気で老化によるものと、認知症の症状と区別することが重要であると、アルツハイマー型か、脳血管障害合併例、レビー小体型認知症かの区別と対応方法をビデオを交えて詳しく説明戴きました。

「認知症診断における臨床検査技師の関わり」中部大学臨床検査技術教育・実習センター教授 野田 明子先生には、認定認知症領域検査技師とは、役割、検査方法についてお話戴きました。そのなかで、MMSE (Mini-Mental State Examination)、改訂長谷川式簡易知能検査は検査技師が検査してもよいのではないかと、頸動脈エコーによる内中膜厚 (IMT) および Plaque を評価する検査は在宅でも検査可能であるとのこと。また、臨床検査技師は認知所の予防、診断および治療を行うチーム医療の一員となって認知症および家族への説明、認知症に関する有用な情報提供を行える体制を充実させるための対策を考える必要があるとしました。

さらに、認知症診療の実際と題して、新潟県の川瀬神経内科クリニックの院長・看護部長・介護部長が施設での取り組み、工夫などを話されました。生活指導では、「あははあ」（歩く、話す、働く、遊ぶ）が大事、通所リハビリテーションでの「アクティビティ・ケア」では、その方が得

(い わ て)

意になれ達成感を味わうことができ、夢中になれ継続できるプログラムの発見し、主役になれる場の提供を心がけているそうです。

最後に、認知症領域での臨床検査技師の可能性について4つの班に分かれてグループトーク、総合討論をしました。

当施設は、老人保健施設・デイケアセンター・小規模多機能・グループホーム等が併設されています。それで今回推薦戴き、研修会に参加させて戴きました。講義の内容、当施設の現状等照らし合わせて検査技師として何ができるのか考えていきたいと思
います。
このような機会を与えて戴き、感謝致します。



今回の『つなぐ』は盛岡赤十字病院の大橋航太さんです

“つなぐ”

皆様、初めまして。今回、岩手医科大学附属病院の遠藤謙太郎さんから『つなぐ』のたすきを受け取らせていただきました、盛岡赤十字病院の大橋航太と申します。遠藤さんとは弘前大学の同級生で実習班も同じだったので、よく飲みやキャンプをしていました。

今回この『つなぐ』のコーナーを担当させて頂くにあたり、まず簡単に自己紹介をしたいと思
います。私は盛岡市出身の24歳です。職場では生理検査を担当しています。好きな日本酒は弘前の豊盃です。趣味は漫画で、好きな漫画は青年漫画では「キングダム」「宇宙兄弟」「コウノドリ」、少年漫画では「ハイキュー!!」「食戟のソーマ」「ワンピース」、少女漫画では「夏目友人帳」「ちはやふる」「俺物語」などで、家には1000冊以上単行本があります。漫画の話をするときりがないのでこの辺にしておきます。(笑)

さて、昨年2015年は私の人生の中で公私ともに最も充実した1年になりました。仕事関係では、1月から心エコーの練習を始め、最初はapical viewを上手く描出できずに悪戦苦闘の日々でした。10月には県学会で演題発表もさせていただきました。プライベートの方では、3月に本宮のララシャンス・ベルアミーで結婚披露宴を行い、10月には息子が誕生しました。今回は息子の誕生までを振り返りたいと思います。まず1月に奥さんが胎囊のエコー写真を持って来た時は、父親になるのだという実感は正直まだ薄かったです。しばらくして奥さんの悪阻が始まると、その大変さを思い知らされました。お米が炊ける臭いや肉を炒める臭い、シャンプーや洗剤の臭い、冷蔵庫を開けただけでも気持ち悪くなり、また通勤のバスで席に座れないと立ちくらみもするようでした。奥さんに「あらゆる臭いで気持ち悪くなるし、24時間二日酔いの感じだよ」と言われ、私は今まで妊婦さんはお腹が大きくなってからが大変なのだと思っていたので、その考えを改めさせられました。それからはあまり臭いを出さないよう心がけ、早番の時以外は奥さんを職場に送迎するようになり、またバスに乗るときにはマタニティマークをつけた妊婦さんがいないか気を配るようになりました。そして、いよいよ出産を向かえました。私は立ち会う事が出来たので

(い わ て)

すが、産まれる瞬間は今までにないくらいの感動でした。産まれた息子を抱っこした瞬間に父親としての実感が湧き上がってきました。助産師の奥さんの指導のもと、今ではあやして寝かせたり、おむつ交換も上手になりました。

ただ最近夜にやってくる黄昏泣きだけは私では泣きやませられずお手上げですね。(笑)そんなこんなで今年も仕事と子育ての両方を頑張っていきたいと思っています。

今回は大学の先輩で、技師会マラソン部エースでもある盛岡市立病院の三田隼人さんに

『つなぐ』のたすきを渡したいと思います。



息子の琉斗

ハリネズミの服がお気に入りです

会員情報変更の手続き

日臨技を平成 28 年 3 月 31 日で退会される会員の方
退会の手続きは日臨技ホームページで行えます。

退会を希望される方は、会員専用ページから退会手続きを行っていただき、退会届を印刷し会員証を貼付して、日臨技事務局に郵送してください。会員専用ページから退会手続きが出来ない方は、「退会届」をダウンロードして日臨技事務局に郵送してください。

退会手続きを 1 月 31 日までにに行った場合（郵送の場合は 1 月 31 日必着）

→2 月 29 日の平成 28 年度会費の口座振替は停止されます。

- ・ 退会手続きを 2 月 1 日以降に行った場合。（郵送の場合は 3 月 31 日必着）

→2 月 29 日（振替られない場合は 3 月 28 日に再振替）に、平成 28 年度会費が引き落としされますが、その場合は、返金手続きを行ってください。

※ 3 月 31 日までに退会手続きが完了していない場合は、返金できませんのでご注意ください。

※ 返金手続きの方法の詳細は日臨技ホームページをご覧ください。

～編集後記～

新年明けましておめでとうございます。今年も岩臨技をよろしくお祈いします。今年は暖冬で雪かき等も少なく楽な冬ですが、雪まつりは、雪像が中止になり、残念です。

さて、間もなく岩手国体が開催されます。本県選手の皆さんの活躍期待しています♪

今年もまた様々な活動があると思います。皆様のご協力をよろしくお祈いいたします。

(佐)

会報「いわて」第 305 号 2016.

社団法人岩手県臨床衛生検査技師会

発行人：

会 長：安保 淳一

事 務 局：畠山 裕司

編集責任者：佐々木 道子

向井 千純

〒020-8505 盛岡市内丸 19-1 岩手医大中検内

Tel.(019)651-5111 内線 3746 Fax.(019)654-8510

<http://www.iwateamt.or.jp/>

会報専用メールアドレス：

kaiho@iwateamt.or.jp